



Tokyo Century

その他金融 8439

働き方改革に資する「ロボット派遣」への取組みと ITを活用した「交通運輸コンサルティングサービス」の高度化を推進

東京センチュリーは、戦略的なIT活用を重要な経営課題と捉え、社長を委員長とする「IT・事務戦略委員会」等を定期的に開催し、「攻めのIT経営」を推進するための体制・基盤を強化しています。

組織・人材面においても、最新のデジタル技術の調査・研究を担う「デジタルビジネスグループ」を配置するとともに、新規ビジネスをプロアクティブに推進する「事業企画部」を設置するなど、AIやIoTの普及に伴う事業機会の発掘に取り組んでいます。

具体的な成果としては、川崎重工業株式会社と協業し、産業用ロボットレンタル「ロボット派遣」を2016年4月より展開しています。レンタルスキームを応用することで、これまでロボットを導入したことのないお客さまも手軽にロボットを活用できる機会を創出しています。少子高齢化に伴う労働力の減少などの社会的課題や、生産・需要変動等にも柔軟に対応できる「ロボット派遣」は、幅広い業種・地域における働き方改革に貢献していきます。

法人向けオートリースを手掛けるグループ会社の日本カーソリューションズ株式会社では、NTTコミュニケーションズ株式会社と協業し、車両に搭載した「NCSドライブドクター」(テレマティクス運行管理サービス)から得られたビッグデータをAI技術で解析することにより、危険運転を高精度で自動検知する取り組みを推進しています。今後も「交通安全コンサルティングサービス」を活用した商品力を高め、安全・安心な交通社会の実現に貢献していきます。

東京センチュリーグループは、「攻めのIT経営銘柄」が創設された2015年度から3年連続で選定されています。これからも産業構造やビジネスモデルの急速な変化に機敏に対応し、競争力強化や生産性向上に向けたIT事業戦略の実現に果敢に挑戦、ITの活用を通じた新たな価値創造とお客さまの更なる利便性向上に貢献していくことで、「リースを超えた新しいノンバンク事業会社」を目指してまいります。



川崎重工業株式会社製
双腕スカルロボット duAro